

報道関係者各位

2026 年 9 月 11 日

株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ

【導入事例公開】

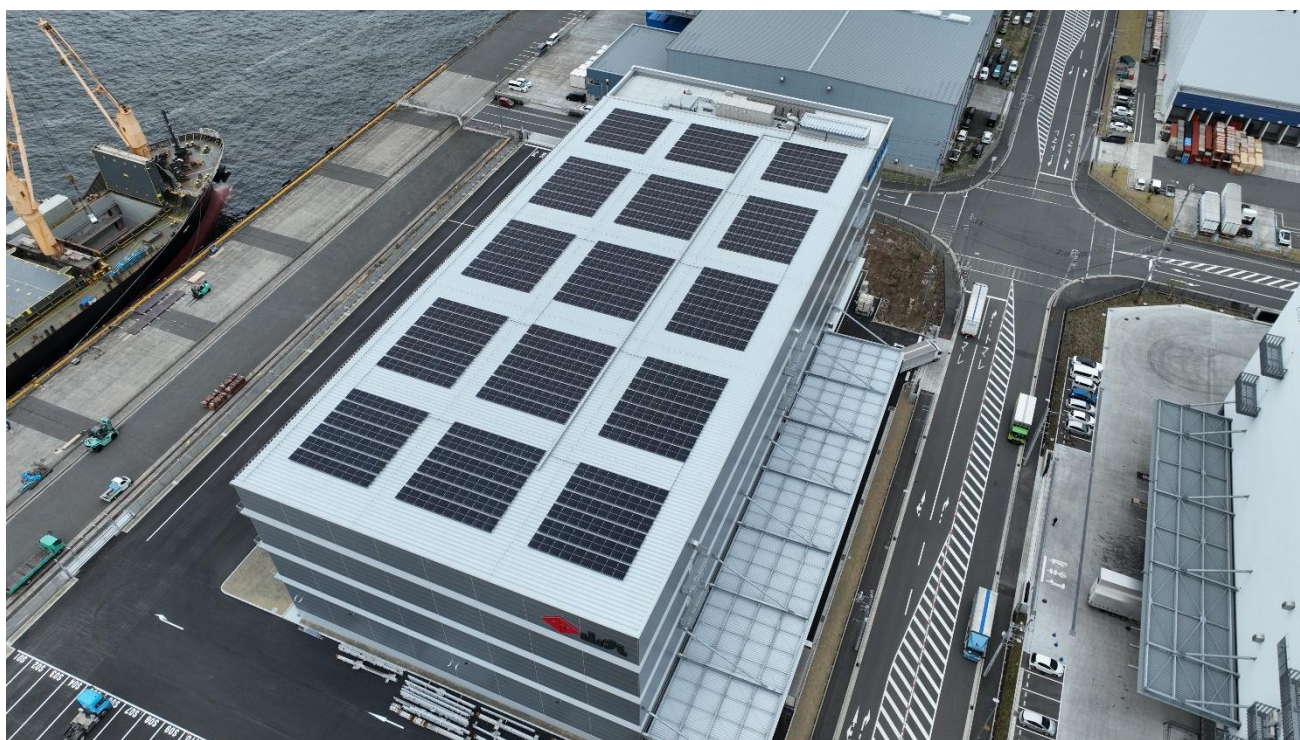
**山九、太陽光オンサイト PPA と「循環型電力」で再エネ活用を拡大
～自社で生み出した余剰電力を活かし、
太陽光パネルを設置できない施設でも再エネ率 100%を実現～**

株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：秋田 智一、以下「アイ・グリッド」）は、太陽光オンサイト PPA サービス「R.E.A.L. Solar Power」と循環型電力「R.E.A.L. Circular Power」の導入事例として、山九株式会社（本社：東京都中央区、以下「山九」）のインタビュー記事を公開しました。本記事では、全国に多くの拠点を持つ山九が、拠点ごとに異なる施設条件や課題に向き合いながら、太陽光オンサイト PPA と循環型電力を活用して再生可能エネルギー（以下、再エネ）導入を拡大する取り組みについてお話を伺っています。



■ 太陽光パネルを設置できない拠点にも、循環型電力で再エネ活用を拡大

山九グループでは、Scope1・2を対象に2030年度までに2020年度比42%削減、2050年までにCO₂排出量実質ゼロを目指し、再エネ活用などの取り組みを進めています。その方法のひとつとしてアイ・グリッドのサービスである、設備投資の負担なく導入でき、施設の屋根上を最大限活用して建屋内の再エネ自給率を高められる太陽光オンサイトPPA「R.E.A.L. Solar Power」を横浜ロジスティクスセンターに採用。年間約95トンのCO₂削減を実現しています。一方、全国に多数の拠点を展開する中で、建物の構造や屋根強度などの条件により、太陽光発電パネルを設置できない施設もありました。そうした施設へ、同施設で生まれた余剰電力を循環型電力「R.E.A.L. Circular Power」により活用。これにより、鹿島支店の対象3施設では太陽光パネルが設置できない建物構造にもかかわらず再エネ率100%、年間約301トンのCO₂削減を実現しました。各現場の理解を得ながら、太陽光オンサイトPPAによる再エネを創出し、さらにそこで生まれた余剰電力を他拠点へ届ける循環型電力と組み合わせることで、つくった再エネを余さずグループ内で活用し、脱炭素化を推進しています。



■ 拠点ごとの課題に応じた再エネ活用を支援

アイ・グリッドでは、太陽光オンサイトPPAの導入にとどまらず、施設ごとの条件や課題に応じて、再エネ活用の選択肢を広げる支援を行っています。山九からは、太陽光パネルを設置できない施設にも循環型電力を活用するなど、発電と電力供給を組み合わせた柔軟な提案を評価いただいています。

今後も、企業ごとの施設条件や課題に向き合いながら、再エネ活用の拡大をともに進めるGXパートナーとして、継続的な価値提供に取り組んでいます。

アイ・グリッドのサービスサイトにおいて山九のインタビュー記事を公開しております。

▼インタビュー全文

URL：https://igrid.co.jp/gx/casestudy/sankyu_2609

■山九株式会社について

山九株式会社は 1918 年創業。“心に「Thank you」を、世界の産業の山九を。”をパーパスとし、モノづくりを支える「プラント・エンジニアリング（機工）」とモノの流れを担う「ロジスティクス（物流）」の 2 つの事業を展開しています。国内外に多くの拠点をもち、物流・構内操業・設備保全など、幅広い領域で現場を支えています。

■太陽光オンサイト PPA「R.E.A.L. Solar Power」について

「R.E.A.L. Solar Power」は、アイ・グリッドが提供する太陽光オンサイト PPA サービスです。お客さま施設の屋根や敷地内に太陽光発電設備を設置し、初期投資を抑えながら再エネの利用を実現します。また、アイ・グリッド独自の再エネ AI プラットフォーム「R.E.A.L. New Energy Platform」による運用を通じて、設備導入後の発電状況の見える化や安定した稼働管理で、お客さまの脱炭素経営とエネルギーコスト最適化に貢献しています。

■循環型電力「R.E.A.L. Circular Power」について

「R.E.A.L. Circular Power」は、太陽光オンサイト PPA 導入施設で自家消費量以上に生み出された再エネを、他の施設へ循環供給するアイ・グリッド独自の脱炭素ソリューションです。全国で展開する太陽光オンサイト PPA から生まれる余剰再エネをネットワーク化することで、太陽光発電設備を設置できない施設でも太陽光由来の再エネの活用を可能にします。また、自社・グループ施設で生み出した余剰再エネを別拠点で活用するなど、企業全体での再エネ活用拡大を支援します。

■アイ・グリッドについて

アイ・グリッドは、分散再エネをフィジカル×デジタルの融合で集約・循環させ、日本各地の GX を推進するプラットフォーマーです。企業や自治体の再エネ自給率を最大化する GX ソリューション事業、余剰再エネを循環・供給するエナジートレーディング事業を営み、PPA サービスではこれまでに累計 1,511 施設・発電容量約 395MW（2026 年 7 月末現在）の太陽光発電所を開発し、脱炭素社会実現に向け努めてまいりました。「変化より、はやく」をスローガンに、グリーンエネルギーが地域をめぐるサステナブルな世界の実現をめざしていきます。

【アイ・グリッド・ソリューションズの概要】

社名：株式会社 アイ・グリッド・ソリューションズ

本社所在地：〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目 4 番 7 号 T-LITE 15F

代表者：代表取締役社長 秋田 智一

資本金：1,616 百万円（2026 年 8 月末現在） ※資本剰余金含む

従業員：153 名（2026 年 6 月末現在）

設立：2004 年 2 月

コーポレートサイト：<https://igrid.co.jp>

サービスサイト「iGRID GX Solution」：<https://igrid.co.jp/gx/>

オウンドメディア「グリラボ」：<https://igrid.co.jp/gurilabo/> /
